

事後調査報告書（工事の施行中その3）
－（仮称）東京港臨港道路南北線建設計画－

調査項目：大気汚染（工事用車両の走行）、
騒音・振動（工事用車両の走行）、
土壌汚染、廃棄物、その他（大気汚
染（建設機械の稼働）、騒音・振動（建
設機械の稼働）、水質汚濁、地盤、水
循環、生物・生態系（鳥類、水生生物）、
自然との触れ合い活動の場）

環境影響評価書提出：平成28年2月8日

事後調査計画書提出：平成28年3月2日

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：国土交通省 関東地方整備局

代表者：局長 土井 弘次

所在地：埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

2. 対象事業の名称及び種類

名 称：（仮称）東京港臨港道路南北線建設計画

種 類：道路の新設

3. 対象事業の内容の概略

本事業は、「10号地その2埋立地」から「中央防波堤内側埋立地」の約2.5kmの区間を結ぶ往復4車線道路として整備するものである。道路構造は大部分がトンネル構造であり、それ以外はスリット構造及び掘割構造である。

事業計画の概略は表3-1に示すとおりである。また、事業区域は図3-1、平面図・縦断面図は図3-2、構造別標準断面図は図3-3に示すとおりである。

表3-1 事業計画の概略

項目	計画の概要
計画道路名称	(仮称) 東京港臨港道路南北線
延長及び区間	延長：約2.5km 起点：10号地その2埋立地（東京都江東区有明4丁目） 終点：中央防波堤内側埋立地
通過地域	江東区、中央防波堤内側埋立地
道路規格	第4種第1級 ^{注1)}
車線数	往復4車線
車線幅員	片側7.0m（路肩部を除く）
設計速度	60km/時
道路構造	トンネル構造：約1.6km 沈埋トンネル構造：約0.9km 開削トンネル構造：約0.6km 接続部構造：約0.1km スリット構造：約0.1km 掘割構造：約0.5km 平坦部：約0.2km 嵩上げ部：約0.1km
主要交通網との交差	主要航路：第2航路
計画交通量	32,400台/日
事業予定期間	平成28年度～令和3年度
供用開始	令和2年度 ^{注2)}

注：1. 第4種第1級とは、「道路構造令」（昭和45年政令第320号）で定められた道路の区分である。

2. 供用開始しているが、令和3年2月現在、一部の工事が残っている。

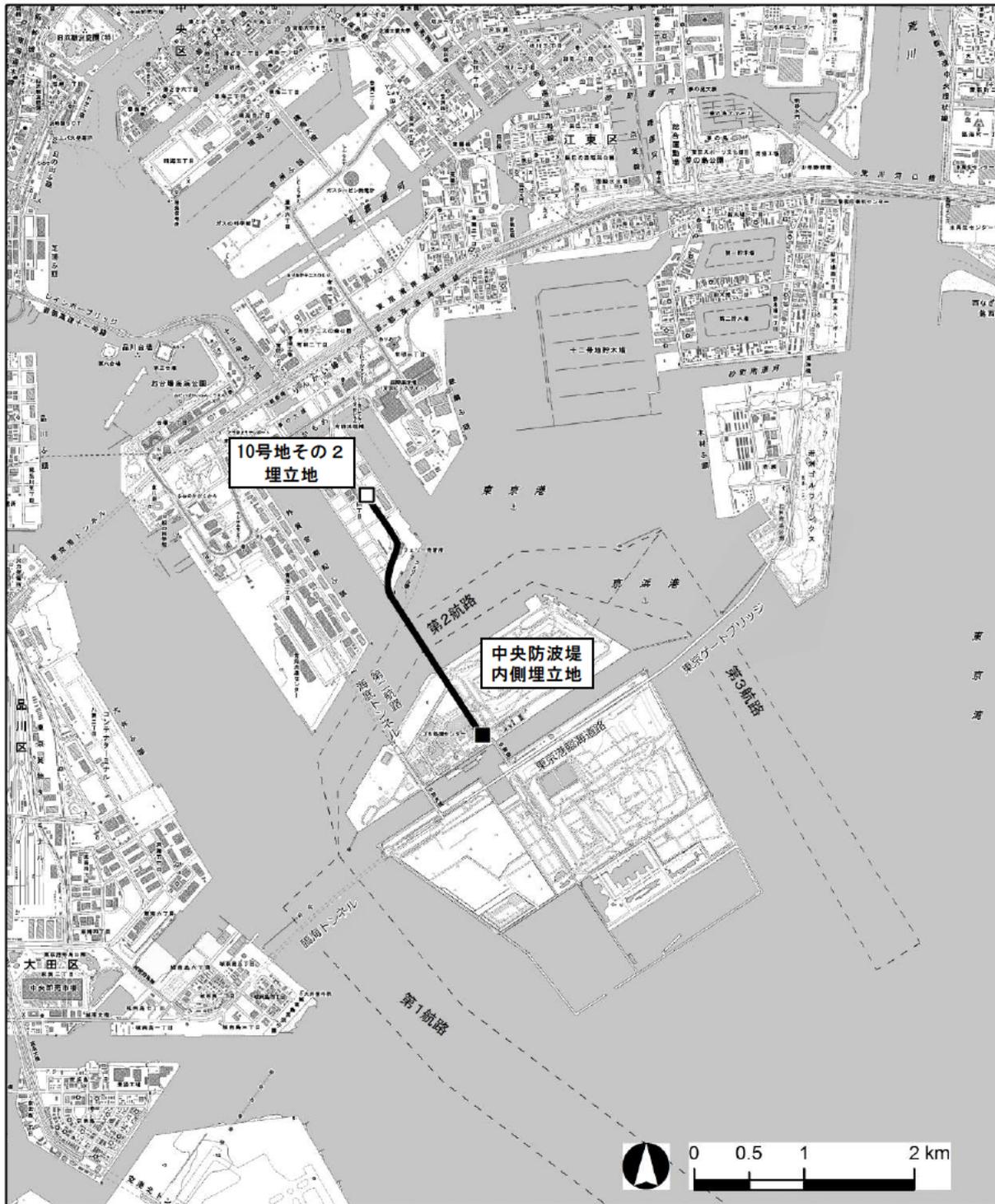


図3-1 事業区域

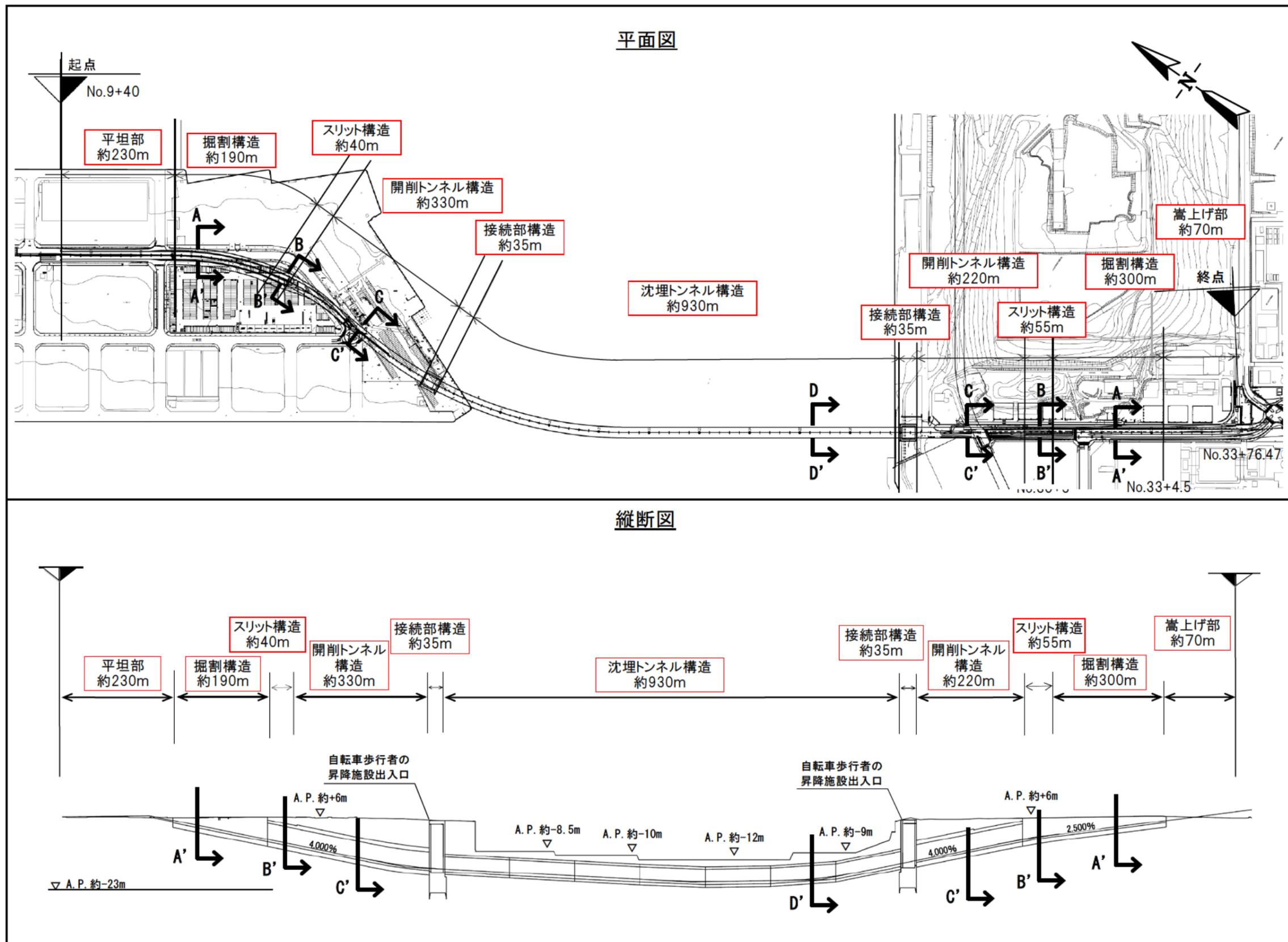
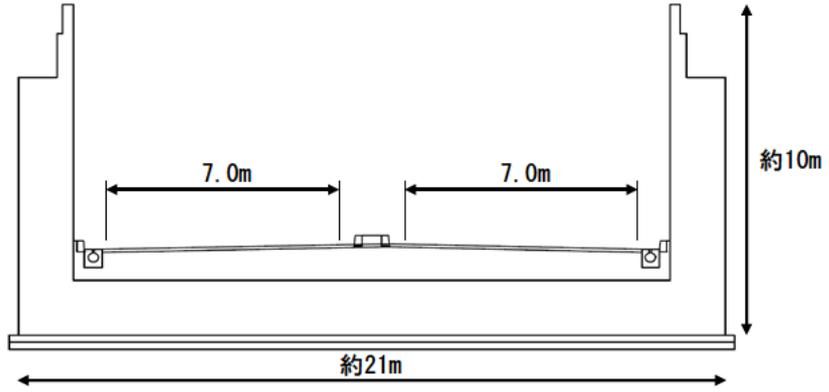
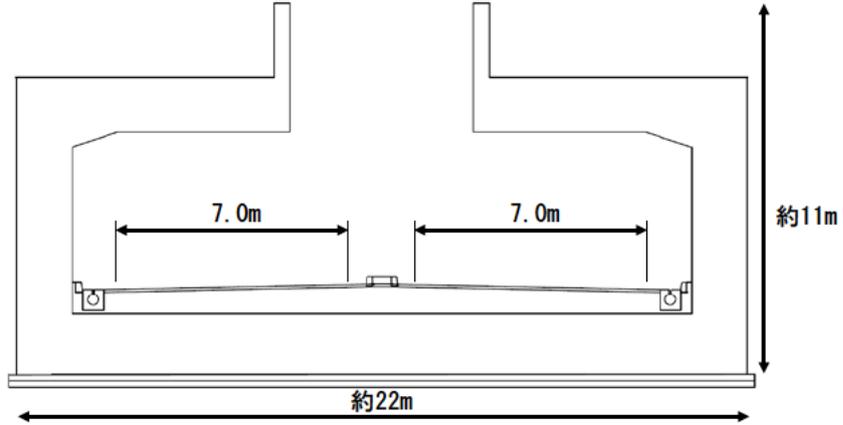


図3-2 平面図・縦断図

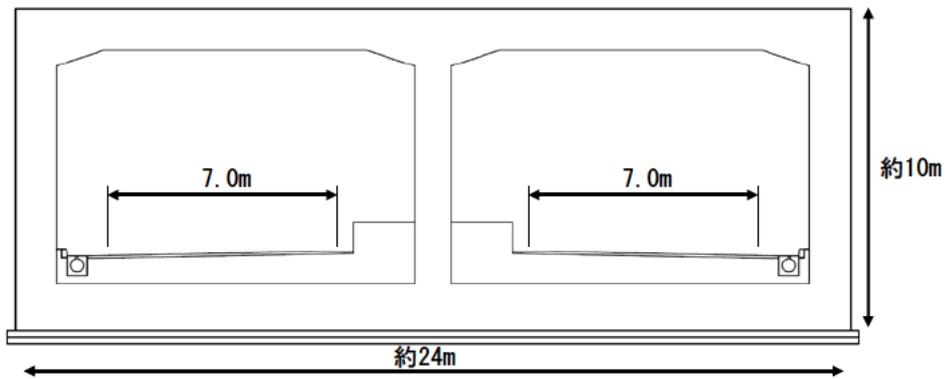
掘割構造断面図 (A-A')



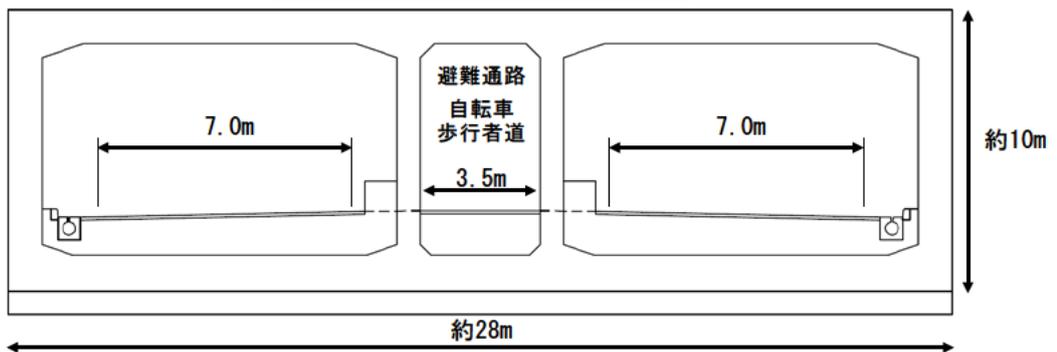
スリット構造断面図 (B-B')



開削トンネル構造断面図 (C-C')



沈埋トンネル構造断面図 (D-D')



注：各構造の断面位置は、図3-2の平面図に示す位置に対応する。

図3-3 構造別標準断面図